設の利用等の協力依頼があった場合には、可能な範囲で協力するとのこと。共同受信施設を利用されている方々は今の共同アンテナをできれば利用したいという希望をお持ちだと思いますが、この運営費につきましては、これから関係する機関と協議を重ねていきたい。

●山武市水道事業について

Q　平成19年度末の給水目標2、450戸に対して、現在の給水戸数と見込みはどうか。平成16年度より企業債の元金償還が始まっており、数年後には2億円を超えるとのことですが、そのピークはいつか。また、来年度からの給水申し込みの拡充をどのように行っていくのか。

A　水道課長　現在2、103戸で今年度末の見込みは2、200戸程度と思います。平成38年度、元金のみで2億1千万円でございます。不足分は内部留保資金で対応したいと考えております。戸別訪問等によってPRをしながら、加入戸数の増加に努めたいと考えております。

●財政問題について

Q　平成20年度予算は来年4月に策定される総合計画の実施計画に基づいて予算組みされるのか。

A　市長　総合計画と新年度予算は相互に調整をしながら編成しております。

Q　山武市における財源確保のための計画はあるのか。

A　市長　厳しい財政状況の健全化を図るには早い時期に身の丈予算に圧縮していかなければならない。市民の皆様には多少お叱りを受けるかもしれませんが、無駄をはぶいて行きたいと考えています。

個人質問　小川　一馬　議員

●行財政改革について

Q　特例債事業の取り組みについて

A　市長　18年、19年度の取り組みは、防災行政無線整備事業とさんぶの森交流センター整備事業の2件と基金積み増し。今後の事業計画として新市建設計画で候補となっている道路事業について、特例債事業の対象要件をほとんどが満たさない状況にある。さらに、特例債は当初の交付税措置があまり見込めない事もあり、慎重に見直しをかけ公債費の発生を抑えていく。山武市に夢が出てこないという点については、確かにそういったものの使い方がまだできていないので、いろいろな提言を頂きながら頑張っていきたいと思う。

Q　管理事業委託について、国の行政指針で示されている様に民間ができるものは民間が実施するという考え方を踏まえ、市の業務委託の現状について

A　市長　現在、福祉関係で6件の管理運営今後、デイサービスセンターと道の駅オライはすぬまを予定。別に民間委託として市バス4台の運行管理を委託している。

Q　予算の軽減について、抜本的な見直しが必要と思うが。

A　市長　東金市と比較して歳出で28億円多い。人件費で約7億、物件費で約9億、補助費で約9億円それぞれ多い。市内に多くの施設を抱えている現状の中で、整理していかなければ、維持費で多大な出費が出てしまう。一方で人件費が多過ぎるということも事実であります。できるだけ人件費にコストをかけないで市の行政を行っていこうという、職員350人を目標に掲げております。今後身の丈予算を基本に、事業全般の見直しと健全財政に努めてまいりたい。

●道路整備について

Q　海岸線道路計画（飯岡一宮バイパス）について

A　市長　成東海岸と蓮沼海岸の一体性を確保して、山武市の観光振興を図る上でも重要な路線。山武市独自の動きを起こして行く考えです。しっかりと取り組む必要があると認識している。

Q　観光拠点について

A　市長　昨年の観光客180万人、その中で蓮沼地区122万人、海岸の観光は大変重要と思っている。他にいちご狩りなどを加え山武市の観光が成り立っている。私は、観光と健康を組み合わせながら、総合的なつながりの中でこの地域の振興を図っていく。

●成東病院の経営状況について

Q　今年度の経営状況と今後の見通しについて

A　市長　健全化に向けて待ったなしの状況であり、来年から大胆な改革、改善をしていかなければと考えています。病院の医師も地域医療を守るという責任感をもって、この問題に取り組もうとしております。できる限り早く経営改革を進めたい。

個人質問　井野　敬一　議員

●作田川の整備について

Q　改修工事の進捗はどうか。